

# 新・大学院教育の質保証と政策シナリオ

2005年11月17日(木)

時間	講義項目
9:40 ~ 11:00	<p>理工系大学院の教育研究の実質化と質保証 ～修士・博士・専門職課程の進化シナリオ～</p> <p style="text-align: right;">(株)東芝 有信 睦弘</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業から見た日本の理工系大学院</li> <li>2. 理工系大学院修了者への期待</li> <li>3. 大学教育をめぐる国際動向</li> <li>4. 理工系大学院の実質化と質の保証に向けて</li> </ol> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
11:10 ~ 12:30	<p>人文・社会系大学院の教育研究の実質化と質保証 ～修士・博士・専門職課程の進化シナリオ～</p> <p style="text-align: right;">国際教養大学 中嶋 嶺玄佳</p> <p>「知識基盤社会」の到来に向けて、いよいよ本格的な知の大競争時代に突入しつつある。果たして、我が国の大学は、世界の有数な頭脳を吸引するだけの魅力と個性を持っているだろうか。</p> <p>大学院教育に関する今回の答申は、そのような危機感を基礎に、我が国の高等教育史上はじめて本格的な討議が行われた成果である。</p> <p>私は、人文・社会系大学院の諸問題を論ずるつもりであるが、我が国の大学院が欧米の一流の大学のような厳しい教育現場になりうるのかどうか、我が国の将来がかかっているといっても過言ではない。</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>

## 昼 食

13:30 ~ 15:00	<p>「新時代の大学院教育」と今後の施策展開 ～「大学院教育振興プラットフォーム(仮称)」の策定に向けて～</p> <p style="text-align: right;">文部科学省 山崎 秀保</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学院をめぐる状況</li> <li>2. 大学院に求められる人材養成機能</li> <li>3. 大学院教育の実質化と国際的通用性、信頼性の向上             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 課程制大学院制度の趣旨の徹底</li> <li>(2) 円滑な学位授与の促進</li> </ol> </li> <li>4. 大学院教育振興プラットフォーム(仮称)             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大学院設置基準の改正等</li> <li>(2) ポスト21世紀COEプログラムの検討</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
15:10 ~ 16:30	<p>誰のための大学院か ～中教審「大学院教育」答申を巡って～</p> <p style="text-align: right;">教育ジャーナリスト 山岸 駿介</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学院は誰のためのものなのか</li> <li>2. 21世紀社会の“知”とは</li> <li>3. 国の財政再建と大学院財政</li> <li>4. 学部と大学院のどちらに力を入れるのか</li> <li>5. 大学院教育における研究者養成と職業人養成</li> <li>6. 大学改革の原動力としての大学院改革</li> </ol> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>